



令和元年度 第 2 学期始業式 充実した 2 学期にしましょう！

始業式で、代表者 3 名から「2 学期の抱負」が述べられました。

3 名とも 1 学期の終業式同様、ノー原稿で、しかも自分のことばで堂々とした大変立派な発表でした。



◆ 2 学期の抱負 1 年

いよいよ 2 学期がスタートしました。2 学期を充実したものにするために次の 2 つの目標を立てました。

1 つ目は、「計画性と実行力を身につける」です。学習面では、内容が多岐にわたり、複雑になっていく上に、多くの行事があるので授業時間を確保するために、進みも速くなっていきます。部活動では、基礎体力をつけるためのトレーニングから、様々な大会に向けての実践的な練習へとより厳しさが増していきます。このような状況の中で勉強と部活動の両立を成功させるためには、漠然とした目標ではなく、身近な目標を細分化して確実に実行することが大切になってくると思います。目標達成をイメージし、そこから逆算して「何をいつまでに」という明確な目標を立て、強い意志をもって実現させていきたいとします。

2 つ目は、「主体的に動く」です。2 学期は体育祭、文化祭など多くの行事があります。しかし、ただ何となく行事に参加するのと、一つ一つの行事がもつ意味を考えながら行動するのでは、得られる達成感や経験値が大きく違ってくると思います。「自分にできることは何か」を常に考えて、自分から積極的に行動し多くの事を学んでいきたいとします。

目標達成のために自己分析をしっかりと行い、様々な学校行事を通して自分自身を大きく成長させていきたいとします。

◆ 成長する 2 学期 2 年

私たち 2 年生は、夏休みに様々なことを感じ学びました。部活動では、新チームでの本格始動となり、私たちが主体となる大変さを感じました。また、職場体験活動では、働くことを通して将来の進路について考える機会となりました。このような体験や活動から少しだけ成長できた夏休みだったと思っています。

そして今日から 2 学期のスタートです。

今学期から 2 年生が笠中を背負い、学校の顔になり、様々な活動の中心となっていかなければなりません。早速、9 月中旬には運動部の新人戦が始まり、結果を求められます。10 月には生徒会活動が 3 年生から 2 年生へとバトンが渡されます。文化祭や体育祭でも私たちが中心となって活動する立場にもなります。誰かに任せることはできません。一人一人が自分の得意分野で力を発揮していくことが様々な行事や活動の成功に繋がるとしています。2 年生一人一人の力を結集させて、学校生活が充実できるように頑張りたいと思います。

2 年生は、自分自身を成長させる絶好の機会です。生活面、学習面ともに当たり前のことが当たり前で、やるべきことに責任をもって行動することで、さらに自分を成長させていくことができると考えています。

学年委員長として、この機会を学年全員が逃さないよう努めていきたいとします。



◆ 2 学期の抱負 3 年

僕に足りていなかったもの、それは自覚・計画性・気合いの 3 つです。

1 つ目は自覚です。僕は前期学級委員としてみんなの手本にならなければいけないのに、一緒にふざけてしまいました。受験生としての自覚も必要です。2 学期は、学級委員長であること、受験生であることを自覚して生活したいです。

2 つ目に計画性です。僕は計画性に欠けワークなどをおろそかにしてしまいました。2 学期はしっかりと学習の計画を立て、やるべきことを終わらせて学力を安定させていきたいです。

3 つ目に気合いです。僕には気合いがありません。今まで体育祭や合唱コンクールでも準優勝しかしたことがありません。最後の体育祭・合唱コンクールでは、クラスで一致団結し、気合いを入れて練習に取り組みたいです。今年は、気合いが一番の 3 年 2 組が優勝します。

僕は自覚・計画性・気合いの 3 つを大切に、2 学期は充実した生活を送りたいです。





《鈴木桂治氏の講演会》

立派な武道場が完成

笠間中学校の武道場が新たに完成し、9月19日（火）に竣工式を行いました。早速、剣道部と柔道部は、その日の放課後から素晴らしい環境のもと、練習を行い心地よい汗を流しました。

当日は、アテネオリンピック柔道 100kg 超級で金メダルに輝いた、国士舘大学准教授の鈴木桂治氏に講演をお願いしました。3年生と1・2年生の柔道部員・剣道部員が参加して、熱心に話を聴くとともに、率直な質問をするなど有意義な時間となりました。



<3年1組>



<3年2組>



<3年3組>



<3年4組>

【鈴木桂治先生へのお礼のことば】

○3年

今回の講演会では、たくさんのお話を聞かせて下さり、ありがとうございました。「できる、できないではなく、まずやってみる」という言葉がすごく心に残りました。受験や運動でも、夢に向かってたくさん努力をしようと思います！本当にありがとうございました。

○3年

今日は自分たちのために貴重な時間をとっていただき、ありがとうございました。「やれるかやれないかではなく、やる」という言葉がとても心に残っています。また、これから僕は「剛毅朴訥（ごうきぼくとつ）」という言葉の通り、男としての人間性を磨いていきたいと思っています。

ラグビーワールドカップ 日本代表の「福岡 堅樹」 「松田 力也」選手が中学生とがっちりスクラム！

本校では「一人一人が輝く活力ある学校」づくりのため、多方面で活躍している方々を招聘し、「本物」に触れる体験を通して、生徒に夢と希望を与える授業を行っております。今回は、ラグビーワールドカップで日本代表選手として大活躍した「福岡 堅樹」・「松田 力也」両選手、またナショナルチームの青野トレーナーの3名を講師としてお招きし、中学生との交流(夢授業)を行いました。

■ 夢授業概要

- 1 日時 令和元年11月19日(火) 10時30分 ~12 時30分
- 2 場所 笠間市立笠間中学校(笠間市笠間2702) 体育館
- 3 講師 パナソニック ワイルドナイツ 「福岡 堅樹」選手、「松田 力也」選手
ラグビーワールドカップナショナルチーム 「青野 淳之介」トレーナー
- 4 内容 全校生徒(402名)との交流プログラム (3・4時間目)
 - ・福岡選手, 松田選手, 青野トレーナー入場 (吹奏楽部演奏)
 - ・歓迎のことば (生徒会長)
 - ・選手紹介 (校長)
 - ・インタビュー 「福岡堅樹」選手, 「松田力也」選手, 「青野淳之介」トレーナー
 - ・ラグビー交流 (パス, ステップ等)
 - ・記念撮影 (学年ごと)
 - ・謝辞等 (生徒会役員)
 - ・福岡選手, 松田選手, 青野トレーナー退場 (全校生徒と両手タッチ)

